

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

| |
|--|
| 記入日： 2020 年 12 月 30 日 |
| 事業所名： 夢門塾 ゆうゆう 浅口 |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|--|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である | | 4 | | 運動時間の球技については全員揃って実施するためにはスペースが狭いため、別空間でトランポリン等に取り組めるように設定している。 |
| | ② | 職員の配置は適切である | 4 | | | 現在は人員配置に不足なし。 |
| | ③ | 衛生面の管理が行き届いている | 4 | | | 通常の消毒・清掃に加えてCOVID-19対応も実施。（消毒・換気など） |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定を振り返り）に、広く職員が参画している | 4 | | | 正社員はミーティング、パートタイム職員には出勤時に引継ぎノートの閲覧を依頼している。毎月1回、全職員参加の事業所内ミーティングを開催している。 |
| | ⑤ | 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている | 4 | | | 実施している。 |
| | ⑥ | 自己評価の結果を公開している | 4 | | | 実施している。 |
| | ⑦ | 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している | 4 | | | 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で外部に出かける研修の機会には恵まれなかったが、インターネット回線を利用した内部研修に参加している。 |
| 適切な支援の提供 | ⑧ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている | 4 | | | 当事者主体の観点から、利用者本人の意思決定の配慮も行いたい。 |
| | ⑨ | 活動の計画をチームで行っている | 4 | | | パート社員を含む全職員で計画立案している。 |
| | ⑩ | 活動の計画が固定化しないよう工夫している | 4 | | | 自事業所内だけでなく社内の他の事業所の活動内容も共有することにより計画立案している。 |
| | ⑪ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している | 4 | | | 新型コロナウイルス感染症対応のため今年度は外出の機会に恵まれなかったのは残念であるが、施設内で楽しむことを再度検討する機会となった。子ども達の体力低下の防止やストレス解消に例年より注力している。 |
| | ⑫ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している | 4 | | | |
| | ⑬ | 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 4 | | | |
| | ⑭ | 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている | 4 | | | 活動内容・子どもの言動や行動（とりわけ特記事項）を記録することによって支援の検証・改善につなげている。 |
| | ⑮ | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している | 4 | | | 半年に1回、モニタリングを実施している。 |
| | ⑯ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている | 4 | | | |

| | | | | | | |
|---|-----------------------|---|---|---|-----------------|--|
| 関係機関、保護者様との連携 | ⑰ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 4 | | | 月間予定表の配布や下校時刻の変更予定を送迎時に連絡して下さる学校が多く連絡調整が潤滑である。電話連絡をして下さる学校もあり感謝している。 |
| | ⑱ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている | 3 | 1 | | 児童発達支援事業所との連携はあり、夢門塾利用開始前に情報提供を受ける機会がある。保育所・幼稚園・認定こども園との連携の機会は現状ではない。 |
| | ⑲ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している | | 2 | 2 | 過去に1名のみ卒業者が就労継続支援事業所(B型)へ移行したが、その際は情報提供の機会はなかった。 |
| | ⑳ | 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | | | 児童発達支援センター、児童相談所、市役所の社会福祉課などと、その都度、必要な事案・案件について連携している。 |
| | ㉑ | 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている | 4 | | | 利用日は毎回、送迎時に保護者様にお目にかかる機会があるため日々の状況や出来事等の情報は共有している。専門機関への受診後等は保護者様から検査結果の情報提供を受けている。 |
| 保護者様への説明責任等 | ㉒ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている | 4 | | | 契約時に実施しており、その後は発生した質問に応じて対応している。 |
| | ㉓ | 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている | 4 | | | 随時対応している。電話・送迎時の対面・コドモンアプリのメール機能等、様々なパターンにての連絡が入るため、保護者様のライフスタイルに対応した時間帯や方法にて対応している。 |
| | ㉔ | 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している | — | — | — | コロナ対策のため本年度は開催が困難であった |
| | ㉕ | 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 4 | | | 苦情は発生していない。 |
| | ㉖ | 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している | 4 | | | 夢だより・ブログ・行事予定表などで情報を発信している。 |
| | ㉗ | 個人情報保護に十分注意している | 4 | | | 個人情報とは外部に持ち出すことなく、施錠可能な戸棚に収納している。 |
| | ㉘ | 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | | | |
| 非常時などの対応 | ㉙ | 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている | | | 4 | コロナ対策のため地域の行事は中止が相次ぎ、例年の秋祭りなども中止されたため地域との交流の機会には恵まれなかった。 |
| | ⑳ | 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している | 4 | | | 事業所内にマニュアルを設置しており、内容と設置について周知している。 |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている | 4 | | | 水害想定避難訓練を昨年・一昨年実施したため、今年度は地震発生を想定した避難訓練を実施している。 |
| | ㉒ | 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 4 | | | 虐待防止の研修に複数回参加している。 |
| | ㉓ | いかなる場合でも身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している | 4 | | | 身体拘束の必要なケースが発生していない。また契約時に身体拘束の必要がある場合についての説明は実施している。 |
| | ㉔ | 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている | 4 | | | 必要に応じて実施している。 |
| ㉕ | ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している | 4 | | | 事業所内で実施、共有している。 | |
| 保護者様評価、自己評価についてまとめ | | | | | | |
| コロナ禍の中、例年通りの活動が出来ず、活動内容についても模索しながらの1年であったが、利用者様・ご家族・職員ともに無事に2020年度を過ごせたことは幸いであった。コロナ収束は未だ見込めず、引き続き現状に適応しながら安心してご利用いただけるよう注力したい。また、満足していただける支援を提供することを目指したい。利用開始時の説明内容については時間の経過と共に必要に応じて再度のご説明も必要であると感じている。活動内容の発信については引き続きお便りなどの紙媒体とホームページ・ブログ等のインターネット通信の両方を利用し情報提供したい。運営にご協力いただいているご家族の皆様にも感謝している。 | | | | | | |